

事業のご報告

第47期 株主の皆様へ

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日

株式会社MARUWA

証券コード：5344



CSR活動 社会貢献グループ



株式会社 MARUWA QUARTZ 株式会社 MARUWA CERAMIC 株式会社 MARUWA SHOMEI 株式会社 YAMAGIWA

連結業績ハイライト

売上高

41,231 百万円

営業利益

9,345 百万円

経常利益

9,520 百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益

5,893 百万円

当期決算のポイント

POINT
1

差別化製品が堅調に推移

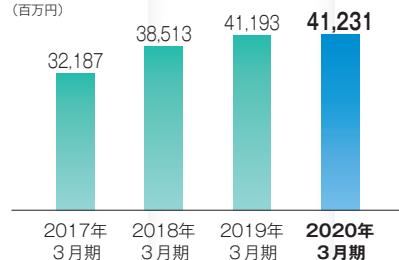
POINT
2

高い収益性を維持

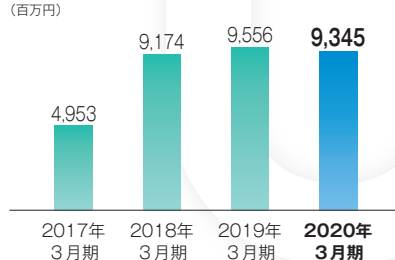
POINT
3

在庫のキャッシュ化

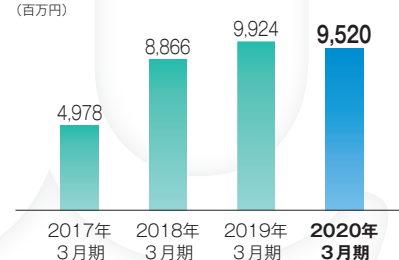
売上高
(百万円)



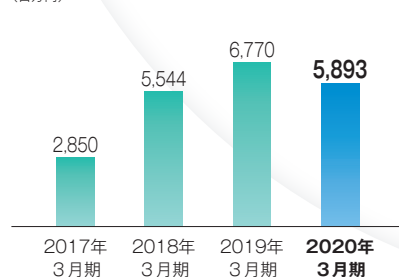
営業利益
(百万円)



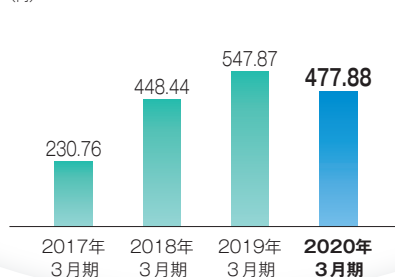
経常利益
(百万円)



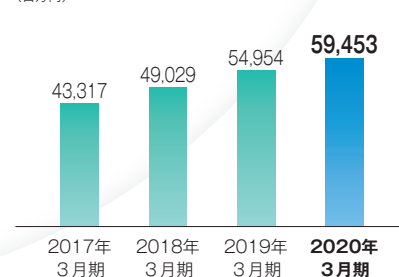
親会社株主に帰属する当期純利益
(百万円)



1株当たり当期純利益
(円)



純資産
(百万円)



株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび新型コロナウイルスによる緊急事態宣言は解除されましたが、当社としては引き続き感染対策を強めてまいる所存です。また、株主の皆様のご健康を心より願っております。

さて、2020年3月31日をもちまして、第47期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）を終了いたしましたので、「第47期 事業のご報告」をお届けし、事業の概況等につきましてご報告申し上げます。

今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

代表取締役社長



Q. 2020年3月期を振り返っていかがでしたでしょうか？

A. グローバル経済変化に対応できる体制作りを努めてまいりました。

当社グループが関連するエレクトロニクス市場で、米中の覇権争いから生じる多くのリスクを想定しておりました。日本でのエレクトロニクス関連は、米・中市場への依存が

高く、当社は当初より慎重な予算を立てておりました。

そのような中、新型コロナウイルスが発生し、グローバル経済に大打撃となりました。

しかし、当社は当初より米中貿易問題の激化を予想し、初期から対応をおこなっており、発生した新型コロナウイルス問題についても結果的に早期対応が出来たと考えております。

以上の結果、売上高は前期比0.1%増の41,231百万円、営業利益は同2.2%減の9,345百万円、経常利益は同4.1%減の9,520百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同12.9%減の5,893百万円となり、予算を上回る着地となりました。

100年に一度の変革期にやるべき事、事業の見直しや生産効率向上、歩留まり改善などに取り組み、とくに在庫の削減は大きな結果を出すことができたと考えております。

しかしながら、世界的に発生した新型コロナウイルス感染症は、外出自粛や移動規制などの拡散防止対策による経済活動や消費行動の低下につながり、世界経済の行方は総じて厳しい状況となって現れ、先行き不透明な状況となりました。

日本経済においても、業績悪化や倒産する企業が出始めるなど、この感染症による大きな経済変化のうねりについて、

当社グループも慎重に判断する必要があるものと考えております。

Q. 2021年3月期の取り組みについて教えてください。

A. 慎重な判断とともに積極的な投資活動を行ってまいります。

世界では、感染症による企業業績の悪化、貿易摩擦の行方に対する懸念が増してきており、今後の先行きは不透明な状況であります。当社グループはカンパニー毎に市場のニーズに応じております。

感染症拡大の影響により、短期的には行動抑制による生産活動の低迷や消費の落ち込みが懸念されます。中長期的には新しい働き方であるテレワークの拡大や通信ネットワークの増強など、エレクトロニクス市場に対する需要は拡大への流れに向かうものと考えております。

このことから、当社グループは新たな素材・特性の開発と、AI導入や工程の自動化などを含めた業務改善等に積極的な投資を行ってまいります。

Q. 増配を予定されていますか？

A. 収益の拡大と株主還元努めてまいります。

当社グループでは、事業拡大に向けた設備や人的投資、さらなる競争力向上や新製品の研究開発及び量産化の戦略投資に向けた内部留保を確保してまいりました。現在、感染症拡大などにより、世界経済の先行きが不透明であるものの、今期、当社グループは積極的な投資を実施してまいります。

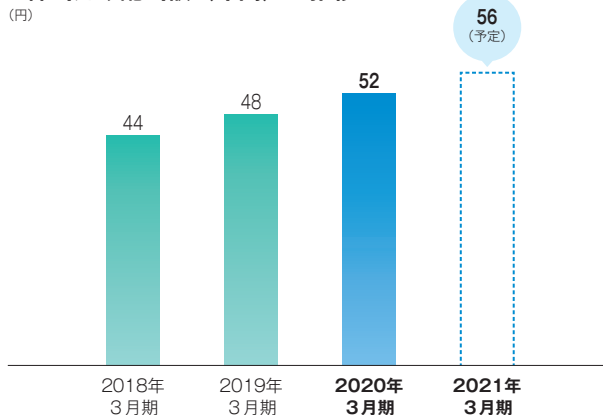
当社グループの経営理念は、株主の皆様からのご支援があって実現できることであり、利益還元も長期的に経営の最重要施策のひとつと位置づけ、安定的かつ継続的な配当を行ってまいります。

以上のことから、2021年3月期の配当につきましては、2020年3月期に比べて4円増配し、1株当たり年間56円を予定しております。

当社グループが目指すゴールはまだ先にあり、決して現状に満足しているわけではありません。さらなる成長に向けて、地域社会の一員として、全員参加で企業価値向上に向けて邁進してまいります。

今後とも、経営内容にご理解をいただき、ご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1株当たり配当額（年間）の推移



セグメント別の概況と事業領域

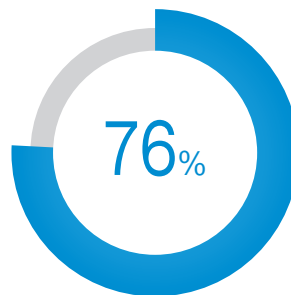
セラミック部品事業

売上高 **31,171** 百万円

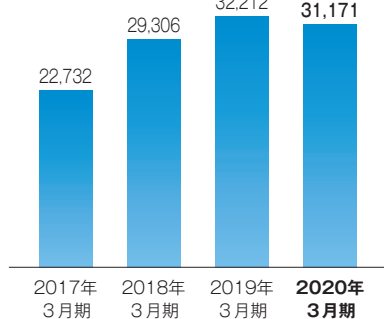
当事業においては、当社が得意とする差別化製品により、さらなる体質強化に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は前期比3.2%減の31,171百万円、セグメント利益は前期比6.7%減の8,876百万円となりました。

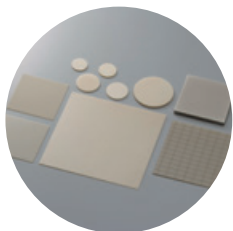
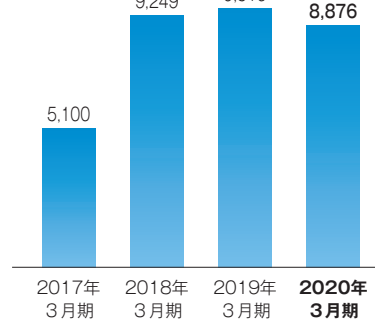
売上高構成比



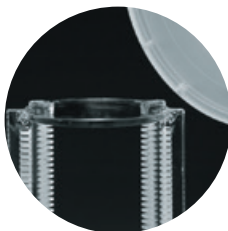
売上高
(百万円)



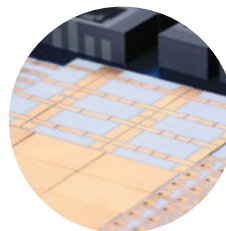
利益
(百万円)



窒化アルミニウム基板



石英ガラス製品



多層回路基板

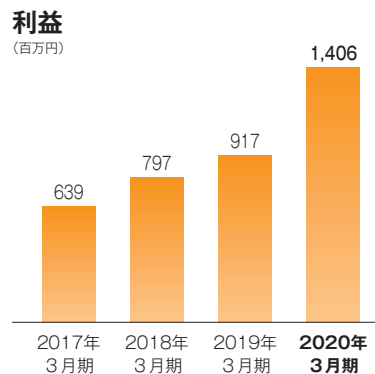
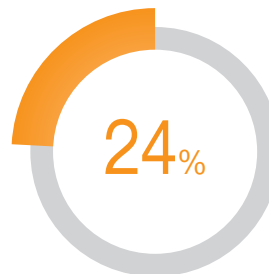
照明機器事業

売上高 **10,059**百万円

当事業においては、高輝度性能や配光性能が向上した製品、高演色光源を採用した製品が好調に推移しました。

以上の結果、売上高は前期比12.0%増の10,059百万円、セグメント利益は前期比53.2%増の1,406百万円となりました。

売上高構成比



LED高輝度照明



LED景観照明



各種施設照明設計

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	前期	当期
	2019年3月31日	2020年3月31日
流動資産	45,575	49,133
現金及び預金	22,627	29,334
受取手形及び売掛金	10,266	9,542
電子記録債権	1,476	1,295
たな卸資産	9,776	7,212
貸倒引当金	△ 1	△ 8
その他	1,430	1,757
固定資産	19,052	21,548
有形固定資産	16,347	19,043
建物及び構築物	6,070	6,144
機械装置及び運搬具	4,634	4,430
土地	4,003	4,421
建設仮勘定	813	3,445
その他	825	601
無形固定資産	533	450
投資その他の資産	2,171	2,053
資産合計	64,627	70,681

負債及び純資産の部	前期	当期
	2019年3月31日	2020年3月31日
流動負債	8,860	9,300
支払手形及び買掛金	2,827	1,898
電子記録債務	1,704	1,619
短期借入金	—	900
未払法人税等	1,590	827
その他	2,738	4,054
固定負債	812	1,927
長期借入金	—	1,200
繰延税金負債	452	351
その他	360	375
負債合計	9,673	11,228
株主資本	55,701	60,926
資本金	8,646	8,646
資本剰余金	11,994	11,992
利益剰余金	35,249	40,526
自己株式	△ 188	△ 239
その他の包括利益累計額	△ 747	△ 1,472
その他有価証券評価差額金	117	70
為替換算調整勘定	△ 864	△ 1,543
純資産合計	54,954	59,453
負債純資産合計	64,627	70,681

連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
2019年4月1日残高	8,646	11,994	35,249	△ 188	55,701	117	△ 864	△ 747	54,954
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 616		△ 616				△ 616
親会社株主に帰属する当期純利益			5,893		5,893				5,893
自己株式の取得				△ 62	△ 62				△ 62
自己株式の処分		△ 1		11	10				10
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△ 47	△ 678	△ 725	△ 725
連結会計年度中の変動額合計	—	△ 1	5,277	△ 50	5,224	△ 47	△ 678	△ 725	4,499
2020年3月31日残高	8,646	11,992	40,526	△ 239	60,926	70	△ 1,543	△ 1,472	59,453

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前期 2018年4月1日～ 2019年3月31日	当期 2019年4月1日～ 2020年3月31日
売上高	41,193	41,231
売上原価	23,264	23,685
売上総利益	17,928	17,546
販売費及び一般管理費	8,372	8,200
営業利益	9,556	9,345
営業外収益	431	239
営業外費用	63	65
経常利益	9,924	9,520
特別利益	7	141
投資有価証券売却益	3	11
固定資産売却益	4	29
受取和解金	—	100
特別損失	57	965
事業整理損	—	773
その他	57	191
税金等調整前当期純利益	9,874	8,696
法人税、住民税及び事業税	3,139	2,928
法人税等調整額	△ 35	△ 126
当期純利益	6,770	5,893
親会社株主に帰属する当期純利益	6,770	5,893

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前期 2018年4月1日～ 2019年3月31日	当期 2019年4月1日～ 2020年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	9,874	8,696
事業整理損	—	773
減価償却費	2,059	2,319
のれん償却額	17	53
売上債権の増減額 (△増加)	△ 333	762
たな卸資産の増減額 (△増加)	△ 1,455	2,084
仕入債務の増減額 (△減少)	706	△ 1,016
その他	△ 3,901	△ 2,954
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,967	10,719
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 4,320	△ 5,408
事業譲受による支出	△ 1,603	—
その他	233	135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,691	△ 5,272
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	900
長期借入れによる収入	—	1,200
自己株式の取得による支出	△ 125	△ 62
配当金の支払額	△ 568	△ 616
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 694	1,420
現金及び現金同等物に係る換算差額	67	△ 200
現金及び現金同等物の増減額 (△減少)	648	6,666
現金及び現金同等物の期首残高	21,799	22,448
現金及び現金同等物の期末残高	22,448	29,114

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

TOPICS

株主優待のご案内

①MARUWA CHRISTMAS CONCERT 2020につきまして

2020年12月20日（日）瀬戸市文化センター 文化ホールで開催予定しておりました「MARUWA CHRISTMAS CONCERT 2020」につきまして、本年末に想定される新型コロナウイルス感染拡大の可能性を鑑み、開催を中止させて頂くことに致しました。

株主の皆様には大変申し訳ございませんが、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。
来年2021年の開催に向けて企画してまいります。ご期待ください。

②軽井沢MARUWAアカデミーヒルズご利用優待につきまして

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として、軽井沢MARUWAアカデミーヒルズは臨時休館させていただいております。現在、再開に向けて準備を進めておりますが、現時点での再開時期につきましては未定となっております。ご利用再開時期につきましては、改めて当社WEBサイトでご案内申し上げます。

何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

R&Dセンター 2020年夏 竣工



R&Dセンター完成予想図（MARUWA本社 隣）

建設を進めてきましたR&Dセンター（愛知県尾張旭市）がこの夏、竣工いたします。MARUWAの技術を集結し、新たな付加価値製品を創出してまいります。

株主優待の詳細・お申込み方法は、当社WEBサイトの株主様専用ページをご覧ください。

株式の状況／会社概要

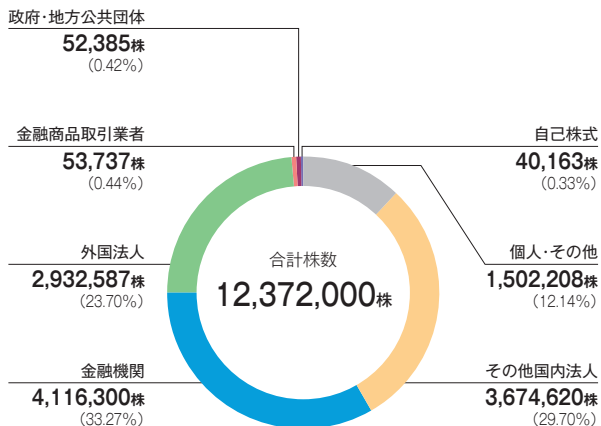
株式の状況 (2020年3月31日現在)

■ 発行可能株式総数	26,000,000株
■ 発行済株式の総数	12,372,000株
■ 単元株式数	100株
■ 株主数	2,504名
■ 大株主 ※上位5名を掲載	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社神戸アート	3,591,920	29.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,551,500	12.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	899,300	7.29
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	520,000	4.21
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	433,100	3.51

(注) 持株比率は発行済株式の総数から自己株式を除いた数に基づき、算出しております。

■ 所有者別株式分布



会社概要 (2020年3月31日現在)

商号	株式会社MARUWA
設立年月日	1973年4月5日
事業内容	エレクトロニクス用セラミックス・産業用セラミックス・電子部品及び照明機器の開発・製造・販売
資本金	86億4,672万円
従業員数	1,580名(連結)
本社	愛知県尾張旭市南本地ヶ原町三丁目83番地
工場	土岐工場(岐阜県土岐市) 瀬戸工場(愛知県瀬戸市) 直江津工場・春日山工場(新潟県上越市) 小平工場(東京都)
営業拠点	東京、愛知、大阪、福島、新潟、福岡
国内子会社	株式会社MARUWA QUARTZ(福島県田村郡三春町) 株式会社MARUWA CERAMIC(愛知県尾張旭市) 株式会社MARUWA SHOMEI(東京都港区) 株式会社YAMAGIWA(東京都港区)
海外	生産拠点 マレーシア 営業拠点 マレーシア、台湾、韓国、中国、イギリス、アメリカ

役員 (2020年6月25日現在)

代表取締役社長	神戸誠
取締役	林春行
取締役	神戸俊郎
取締役	マニマラン・アントニ
社外取締役(監査等委員)	光岡正彦
社外取締役(監査等委員)	松本茂裕
社外取締役(監査等委員)	加藤晶英

株主メモ／お知らせ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会・期末配当金／毎年3月31日
中間配当金／毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告方法 電子公告により行います。
公告掲載URL
(<https://www.maruwa-g.com/ir/notification.html>)
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場金融商品取引所 東京、名古屋、ロンドン、シンガポール

証券コード 5344

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 0120-782-031（フリーダイヤル）

株式会社MARUWA



株主様窓口

株式会社MARUWA 事業管理・IR室
〒488-0044
愛知県尾張旭市南本地ヶ原町三丁目83番地
電話 0561-51-0841

WEBサイトのご案内

MARUWA WEBサイトIR情報内に、株主優待に関する詳細やお申込みに関する情報を掲載した株主様専用ページを設けました。過去の株主通信も閲覧できます。ぜひご覧ください。



<https://www.maruwa-g.com/ir/stockholder/login.html>

MARUWA 株主様専用

検索

9桁の株主番号とパスワードを入力してログインしてください。

パスワード: Maru47

パスワード有効期限: 2021年5月31日

